総合講義

- 千葉大学の情報システム
  - 他大学出身者に基本情報提供
  - 統合認証システム
    - パスワードが統合された
    - メールアドレス変更可能
  - 学内無線LANへの接続
- 論理的文章作成
  - 論理とは何か？
    - 説明的文章の、ギャップの無い繋がり
    - メッセージ(主張)には裏付けが必要
      - 相手が納得するまで、論理的説明が必要
        - どこまで説明するかは相手次第
    - 冗長性(繰り返し)は避ける
    - 教えるのに苦労する
      - 良い方法をいまだに模索中
  - 論文やプレゼン
    - メッセージが大切
      - 論文作成に関する解説サイトいろいろ
  - マインドマップ
    - 思考整理の便利ツール
      - アイデアの論理関係を整理できる
        - 論理関係(並列か、反証か等)を示すには工夫が必要
      - 手描き
        - 紙と色鉛筆でアイデアが広がる
      - パソコン
        - 2大フリーソフト
          - FreeMind
            XMind
            - 課題3:自分の研究テーマについてマインドマップを作成し、課題2の共有フォルダに保存 3
        - フリーウェブサービス
          - Mindomo他
        - タブレット
          iThought
  - 学振DC申請
    - プロ研究者志望者の登竜門
      - 博士課程で月額20万円の給料(研究奨励金)
        - さらに年間100-150万円の研究費
      - 採択率はここ5年の平均で26.9%
        - 申請しなきゃ損!
    - DC1にはM2の春応募
      - 申請書のできが採否を決める
    - 申請書を書く時の心構え
      - メッセージが伝わる事が最重要
        - 論理的文章を作成
      - 評価の3ポイントを考慮して、主張を展開
        - 1.推測される研究能力・将来性
          絶対評価
          - 現在までの研究状況
            これからの研究計画
            自己評価
            評価書
        - 2.研究計画
          絶対評価
          - これからの研究計画
        - 3.業績
          絶対評価
          - 研究業績
            現在までの研究状況
        - 総合評価
          相対評価（評点5は全体の10%）
      - やや専門外の審査員にもメッセージが伝わるような工夫
        - 審査セットも見ておく
        - 虎の威を借る「引用」も有効
      - 申請書外の活動が評価に有効な場合もある
        - ホームページ
          アウトリーチ等
- 修士学生対象
  - 研究紹介
    - 学部でやった
    - 他大学出身者は初めて
  - 情報授業関連
    - 修士には無い
    - 役に立つかも
      - 申請書作成
      - 論文作成
      - 研究生活
    - 大学が提供するサービス
  - 外国人学生
    - 情報処理ガイダンスは皆無
  - 3つのパートに分ける
    - 課題に関する部分の説明は全員参加
    - 学振申請に関する部分は希望者のみ
    - 提出された課題で評価する
- クラウドサービス
  - インターネットの向こう側から受けるサービス
    - サーバーを意識する必要なし
  - Google
    - Gmail
      - メール利用
    - Google Calender
      - カレンダー共有
    - Google sites
      - ホームページ作成
        - 情報公開技術の習得
        - 課題1:Google siteを利用して、自分の研究に関するホームページを作成し、受講者全員と共有する事（一般公開しても構わない） 1
          - 要件:
            1.トップページがある事
            2.メニューがある事
            3.上記以外のページがあり、メニューからリンクされている事
    - Google apps
      - 統合サービス
        - ワープロ
        - 表計算
  - Microsoft
    - Skydrive
      - MS Office書類をオンラインで共有、編集
  - オンラインストレージ
    - Dropbox
    - Sugarsync
    - Nドライブ
    - Evernote
    - 課題2:Sugarsyncをパソコンにインストールし、フォルダを梶田と共有。課題3のマインドマップを保存 2
    - USBメモリーは不要になる？
      - 無料でオンラインならどこからでも利用可能
      - データのセキュリティが心配
        サービスが突然停止する心配